

メガプニちゃん ～w～



ザザザ

コウーッ

コウ...

コウ

...



コウ...

またくるぞ!!
ゲッコウガ!!



コウ...

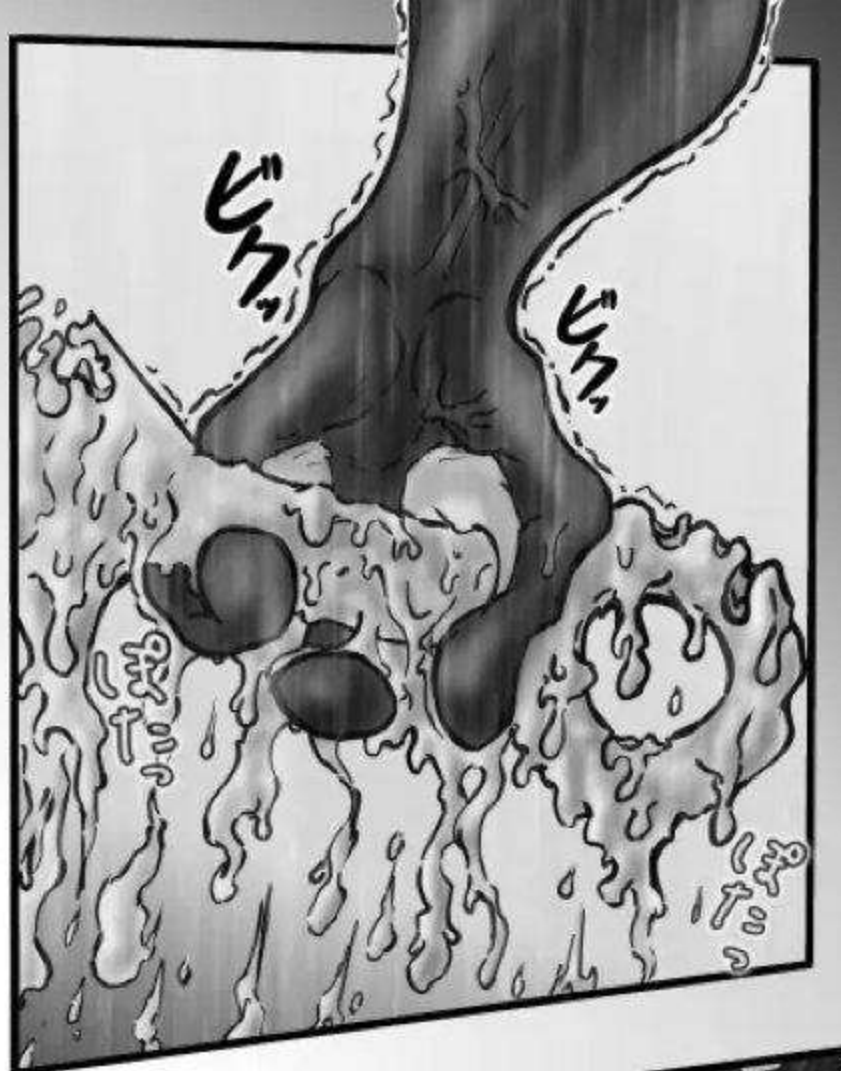
...

コウガ





コウガ!



ジュン
ジュン



最後の戦い

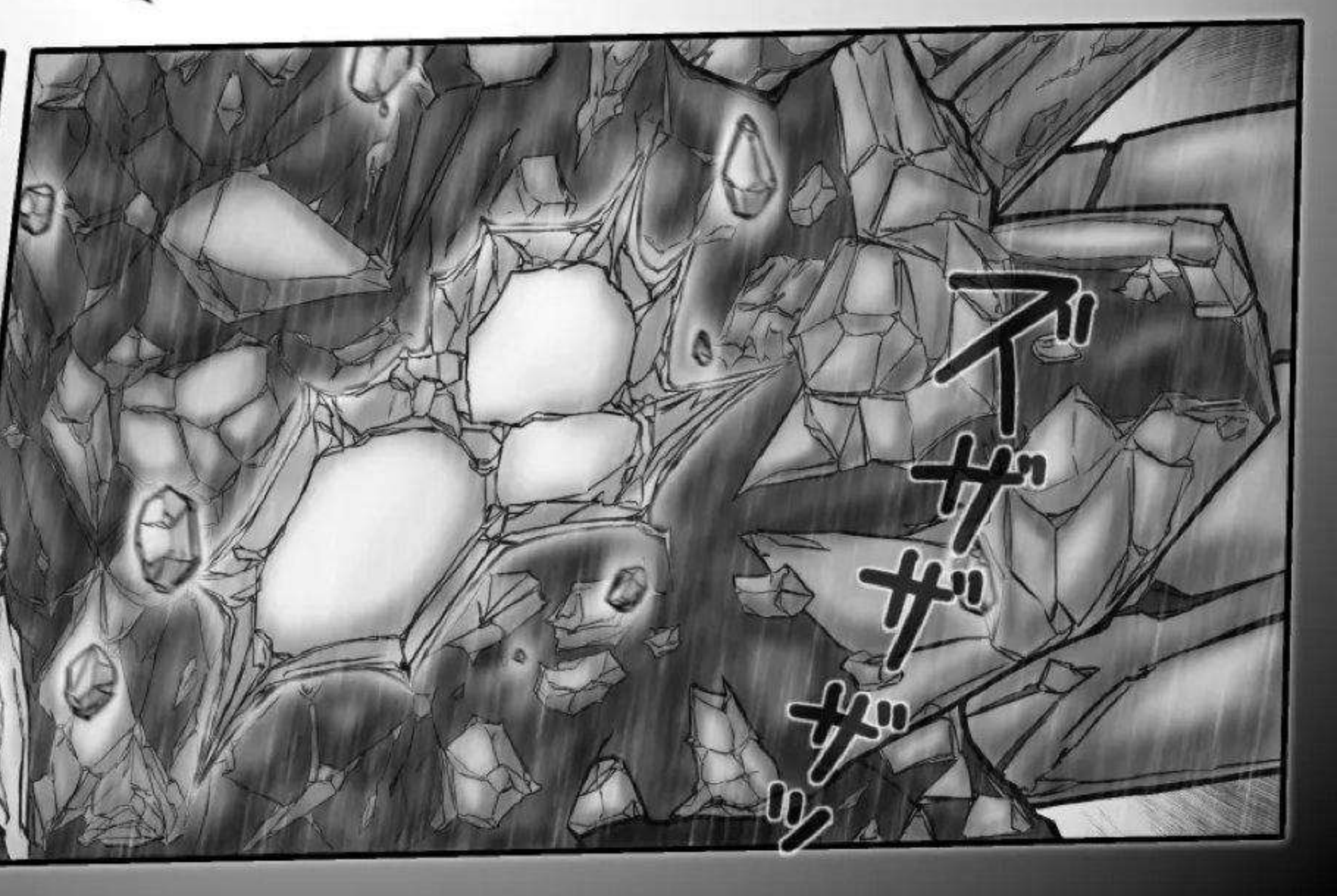
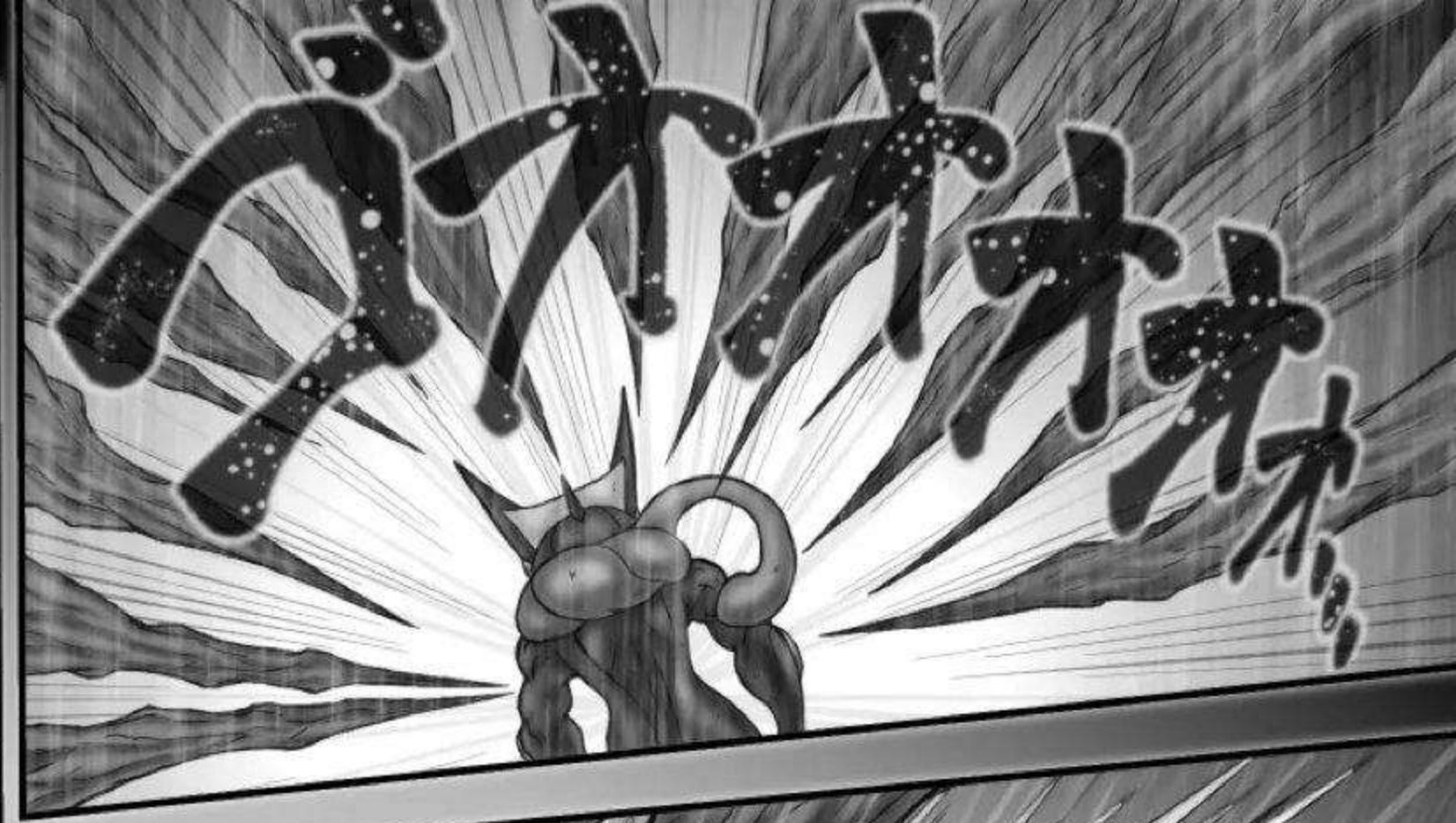
.....

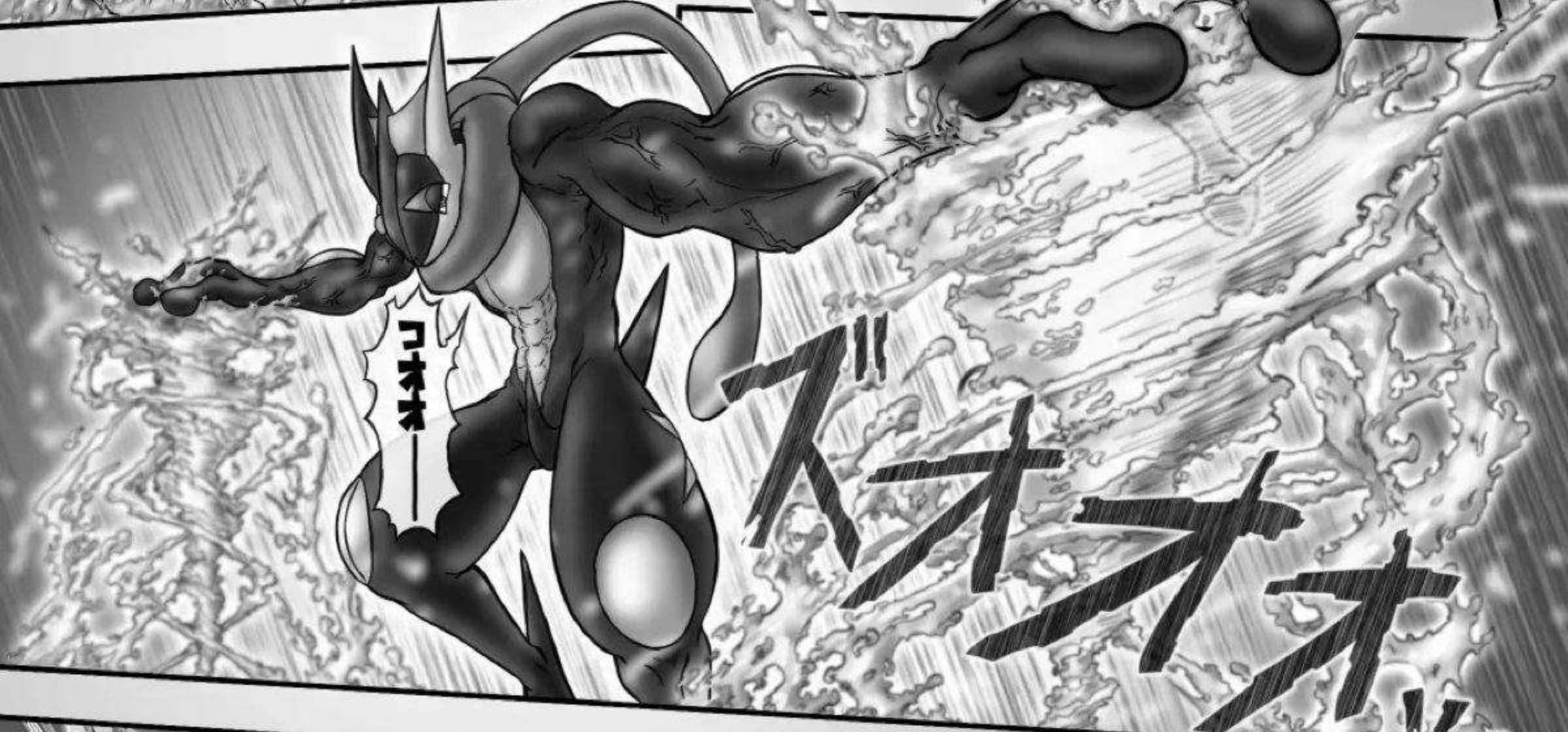


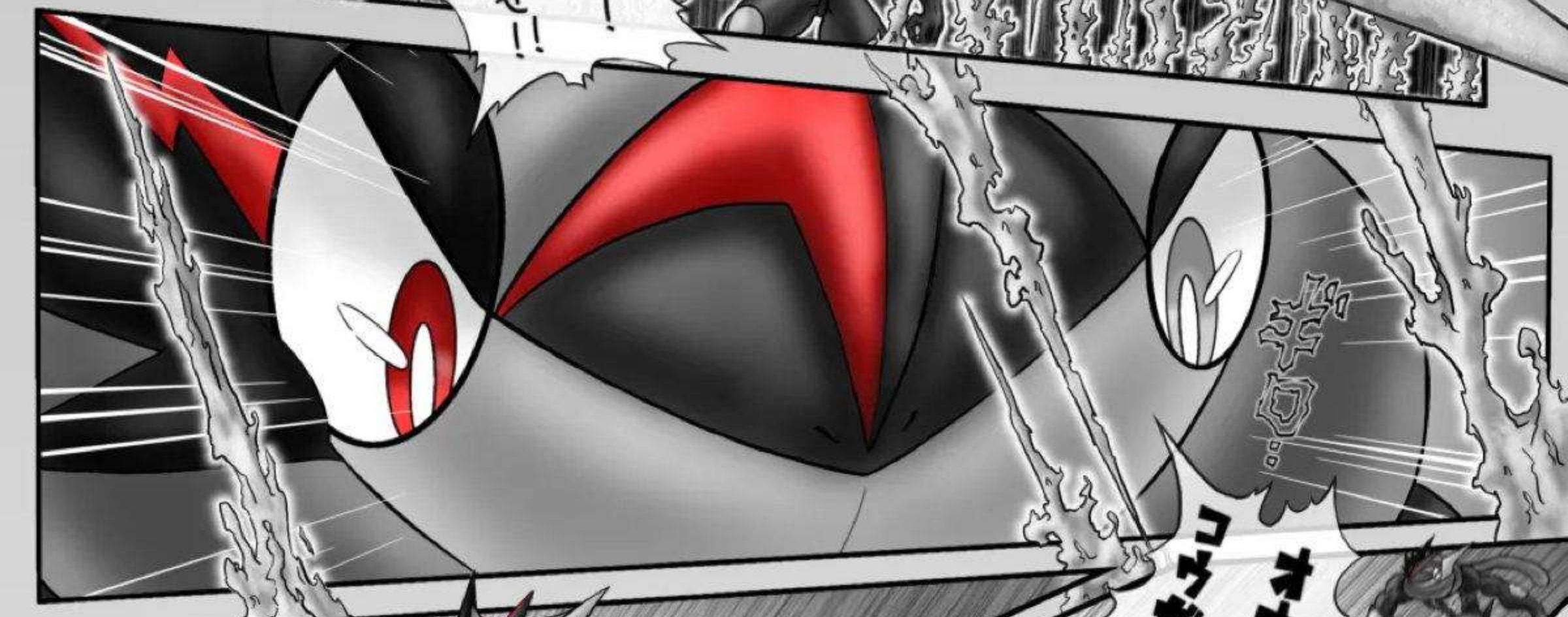
コウ...

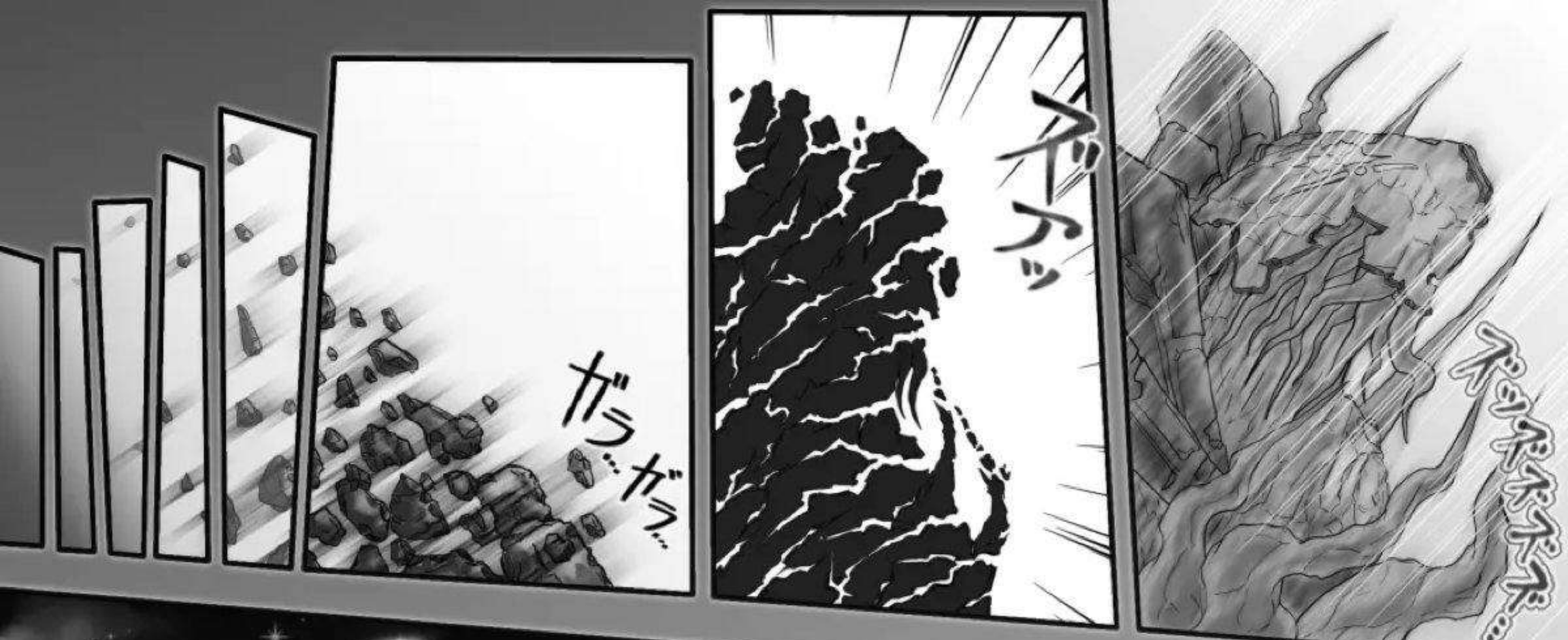
ガッガッ...

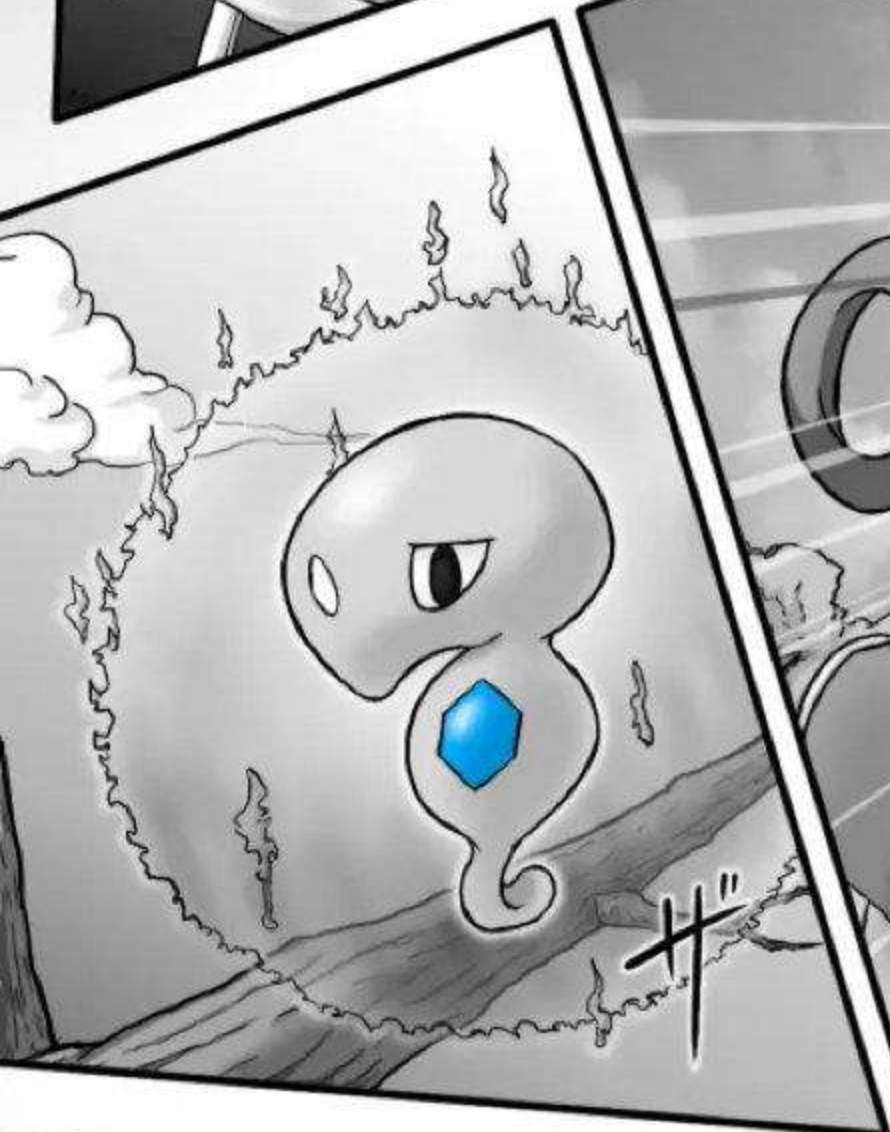














『代行者モード』



案ずるでない
悪いようにはせん♡



ト!



これなら
何とかかなりそうだ



よーしょと
…さすがは
専門家の体



膨大な知識が
この脳に…



.....

コウ!

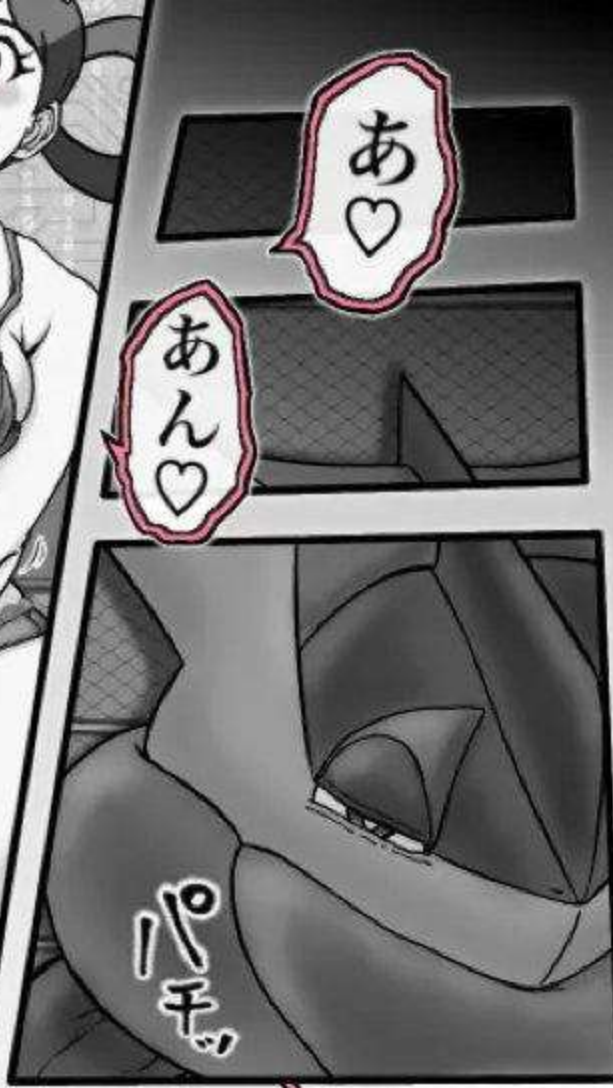
コウ!



あはん

これよ♡
これこれ♡

気持ちいい♡



あ♡

あん♡

パチッ



!!?

臨戦態勢に
入るなあ!!



わあああ
ああっ!!

だいじよぶ
大丈夫から

パチッ



あっ

KOU



フッフ...

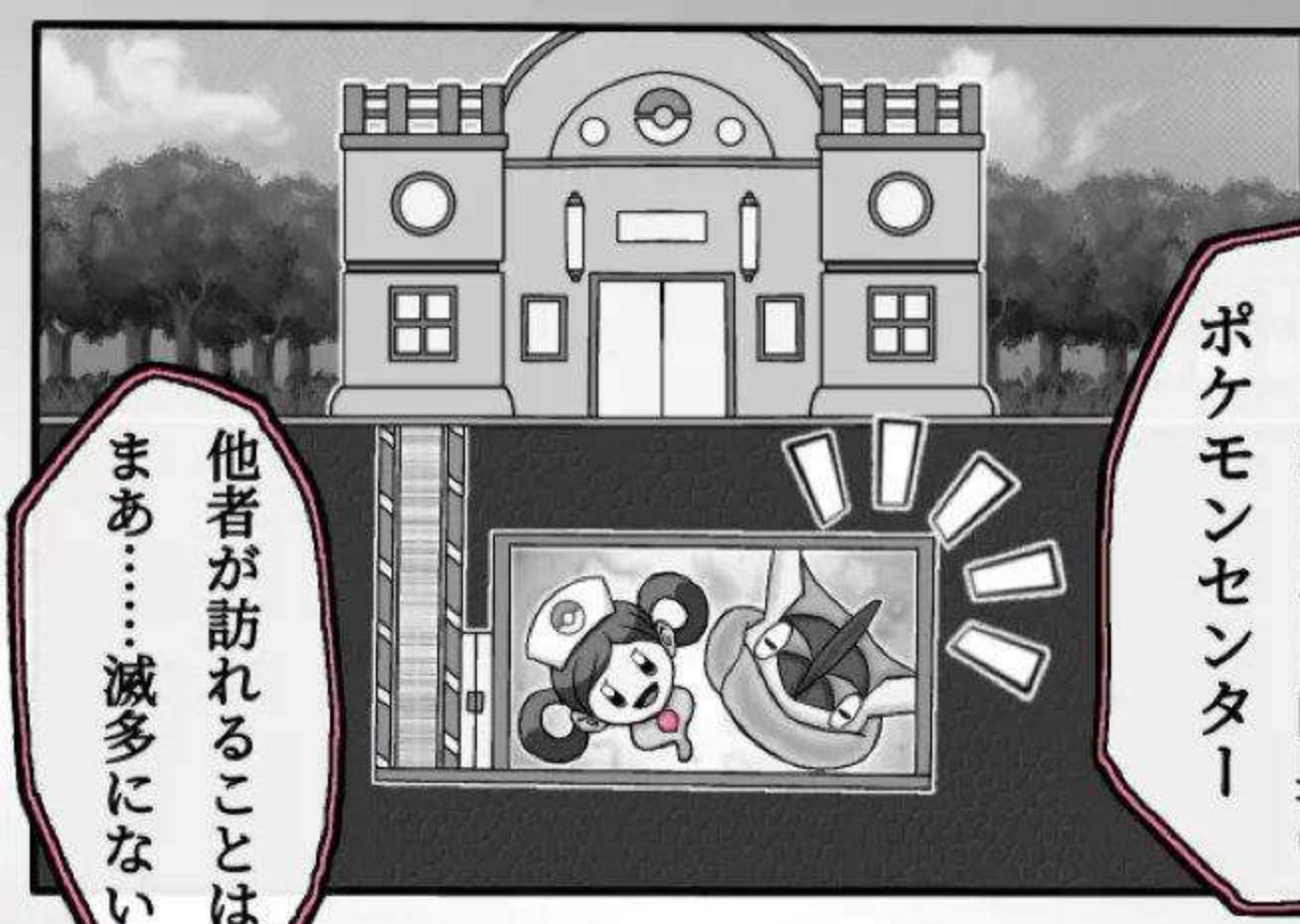
う...



余だぞっ!!今は
余が入っておる
気配で分かるう

しゅる...

パチッ



ここはとある山奥の
ポケモンセンター

他者が訪れることは
まあ……滅多にない



本題に戻そう
ゲッコウガよ



最近のおぬしは
無茶し過ぎた



はあ……

コウ

そもそもは
余達の責任
でもある……



ハッ!!

絶え間ない戦いも完結し
そのボロボロなカラダを
完全に治すまで——
何処にも行かせぬ!!

やれやれだ...



Pi

おぬしを看病
するため
近くに分身達
を配置した

必ずおとなし
く療養せい!!

コ...コウガ



ウーン



さて
次はこっ
ちの問題...



グッ

余とあやつふたり
だけでは.....
さすがにキツイぞ



近頃の戦いそなた
ほとんど手を出して
おらんではないか...

いくらゲッコウガが
ますます強くなって
おるとはいえ.....

まあ悠久を共に過ごし
てきた我らの仲ゆえ
—— 大体の縁由は
把握しておるが...



……よ……
余は……

……今だに時々
思い出す——

操られたときの苦しみ
怒り 絶望感……
それと——

人間への憎しみ……

オオオオ……ッ!!

故に……

ポケモンだけならまたしも
人間を守るための戦いでは
……どうしても——

身がすくむ……

正直に言つと——

余は理解に苦しむ

何故そなたは

喜んでそんな下等生物
の肉体に入る……

はああ???

えっ

しん

アッ



まあ：余も既に
我慢の限界だし：

ふざけんな

パッ



こうなったら何が
なんでもそなたに
人体の絶妙さを体験
させてもらうぞ!!

散々引っ張って置いて
結局はそんな趣旨?!

ドン!!



そうさあ!
そうすべきだ!!

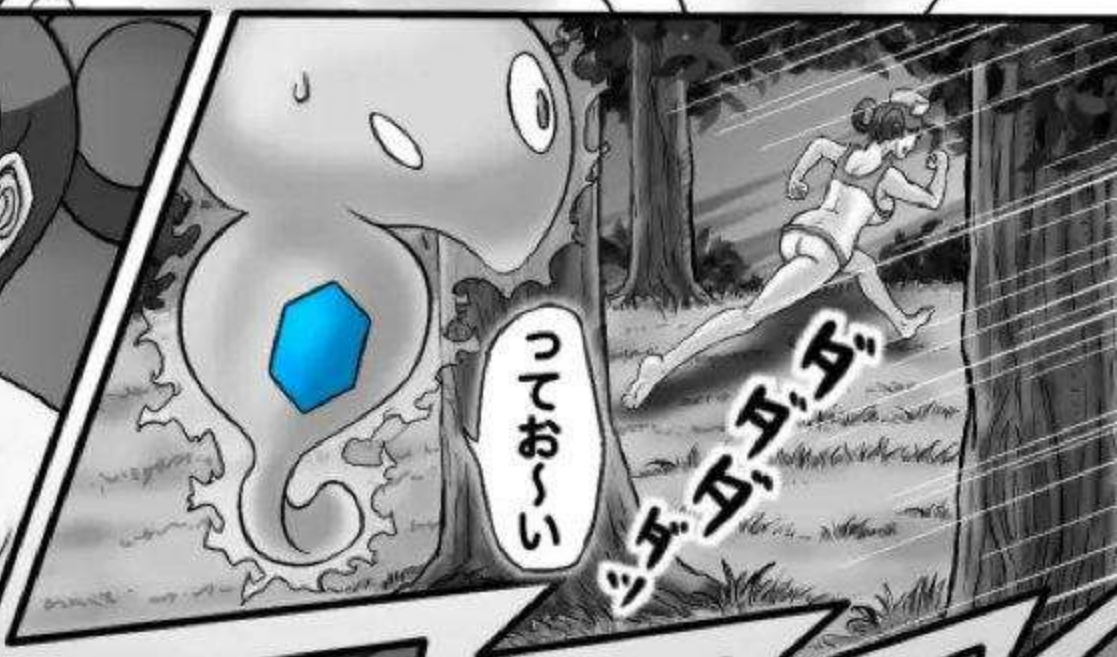
わくわく

えええー??何で??

疲れた時にこそ
例のアレ—
「社員旅行」だ!!



ていうか余達は
社員だったの?!



こっぴい

ダ、ダ、ダ、ダ



ちよっとゲッコウガ
も遠分は休みだし

ブルッ

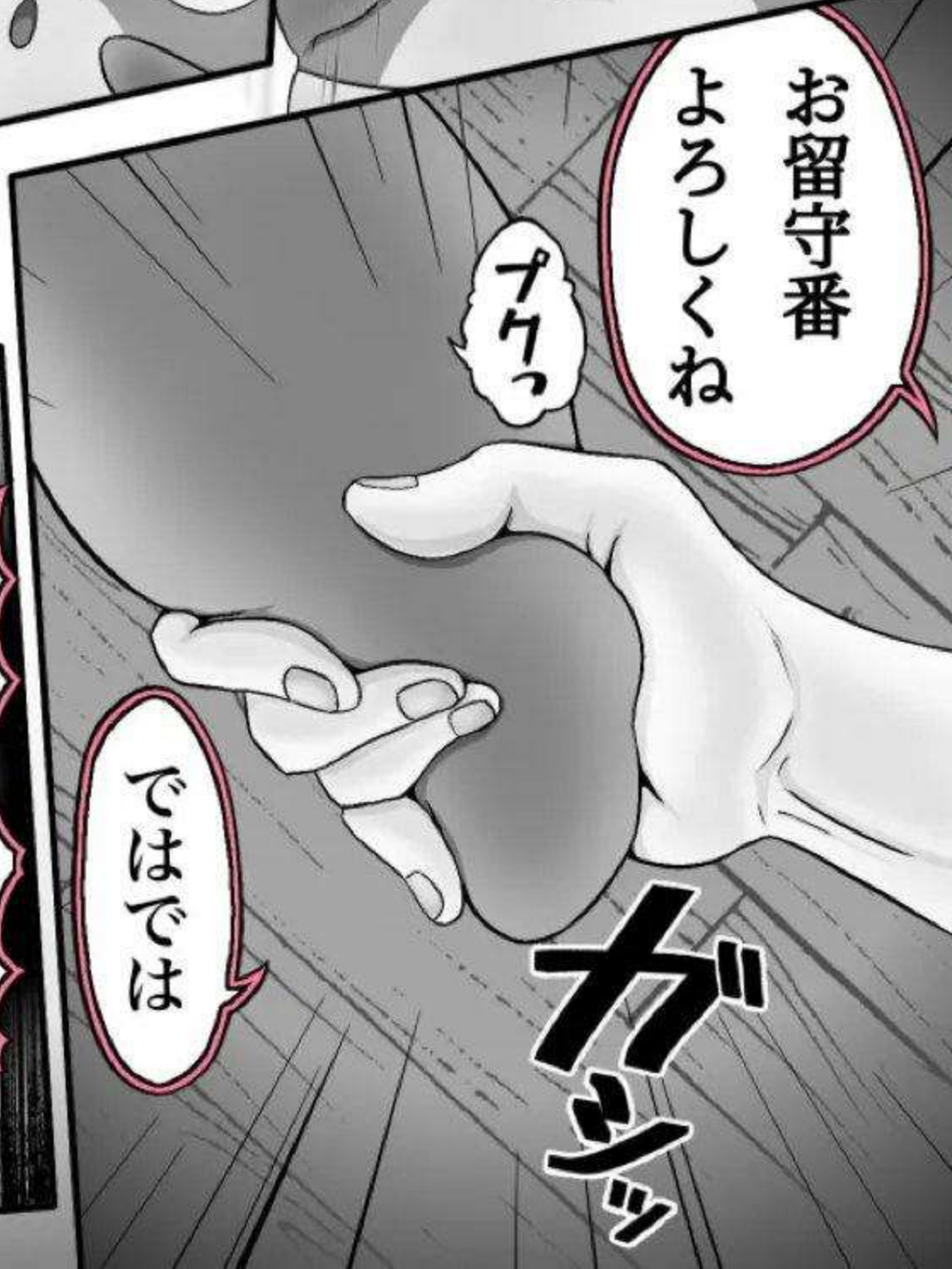
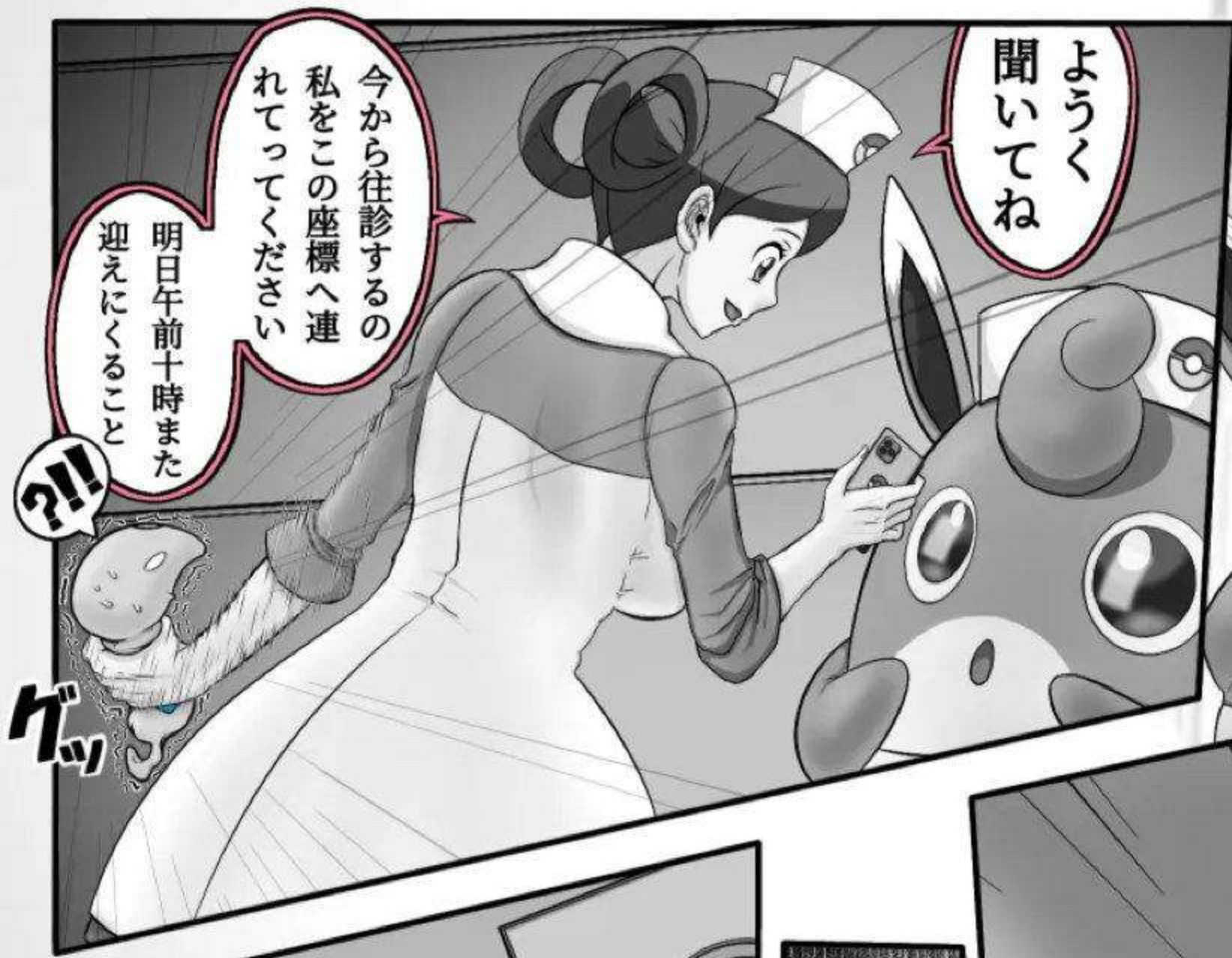


やっと面白く
なってきた♡

ウァーッ



いったい
何を...?



「テレポート」!!





余の経験とこの「ジョーイ」の専門知識さえあれば——

こんな風に

的確な刺激を与えて：



ブアッ

さらに余のオーラを少々注入し——



強制的に『代行者モード』を発動させる

…今回小娘はそなたに譲る

余もまたほかの器を試してみよ

ズザ



ギッ

中々上手くいったぞ





違うですよ
お母様〜♡

フッフ...

どうしたの
...眠れない?

...セレナ?



ぎろ...

ギ
イ



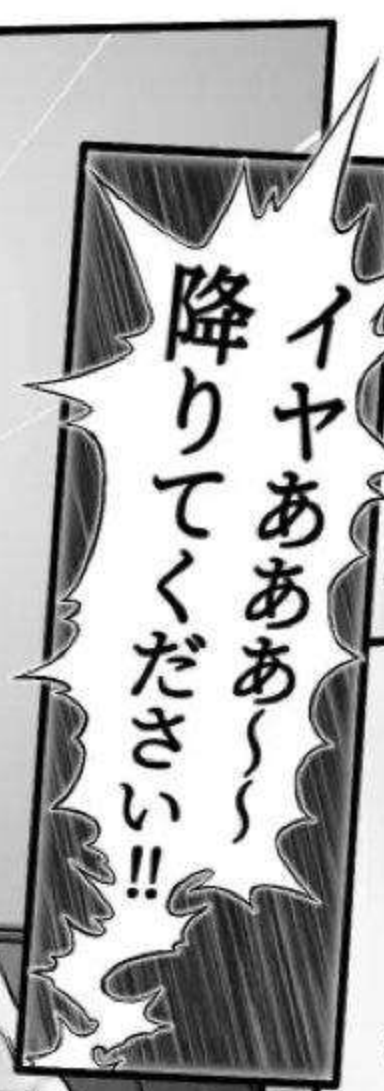
ひ
く

ラ
ラ
ー



あやつ!!
まさか?!

ド
ド
ド



イヤあああ
降りてください!!



ハアッ!!

パル



これ...
で...





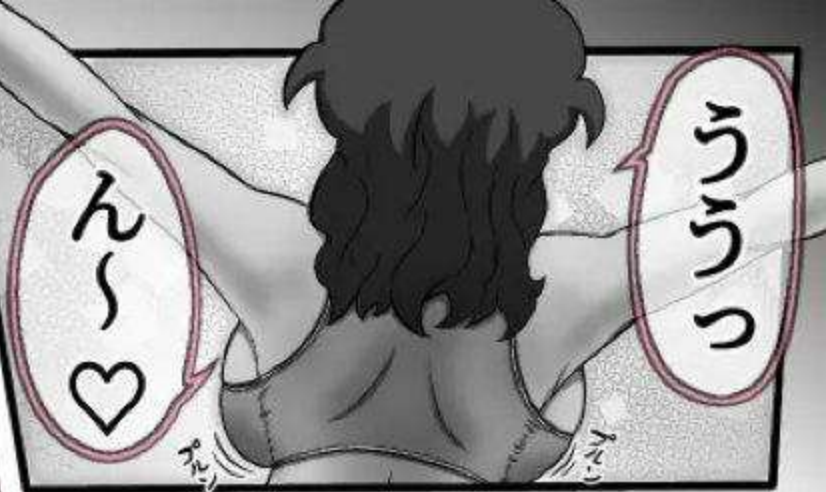
鍛え続けてきたからか
さすがは小娘の母体…

もみ♡

ホシホシ

感度は意外と
優れておる♡

若々しい肉体
とは言えんが



ん♡♡

♡♡♡



いかにも
戦闘力が桁違い……!!

そのカラダでは今の
余から逃げられん♡

…小娘の記憶
で分かるはず



なに?!
は…速い

お…っと
長い夜は始まった
ばかりではないか



もう諦めろ♡宿主から
分離するためには高度な
精神統一が必要だぞ♡!

♡♡♡♡♡



おのれ—
ならば…!!





あゝ♡
ほっほ

ドクッ



バクバク

グイン

コソコソ

シタッ



ポロポロ



おんおん
ぬちぬ



本人よりも
詳しくかも

敏感なところが
が…ふむっ♡

この前…はふっ…余も
その肉体に入ったこと
があつてな…むっはあ

はあ
うう

いん♡

ビクッ



はあ♡

はあ♡

来…♡
うん♡

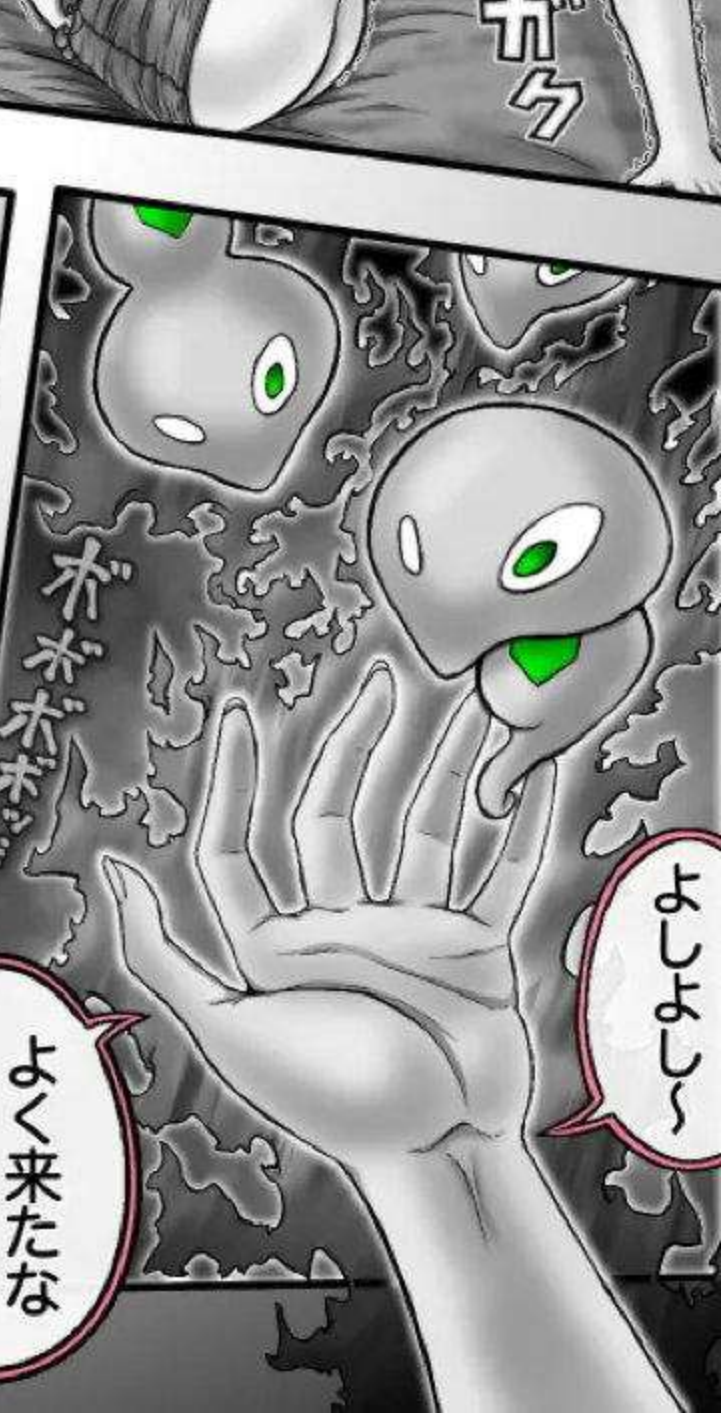
何かが…一番
奥から込み上
げて…♡!!



なん…なんなん
だよこれ…??

そろそろか

ちゅっ♡
ちゅっ♡



…なんだ…?!
死ぬほど切ない
この感覚…!!

あとすこしして
イけそうなのに!!

こやつめ……
……寸止め……
しやがった?!

これ以上……
辛抱たまらん
——!!

ムムム……
凄く疼いて
もう——

よく来たな
ちと〜♡

ちと〜♡

えっ?
…なに

はあ

ムムム♡

はあ

ウソ?!

はあ♡



感触もある?!

...なんじゃこりゃあ?!

...何とかせねば... こやつに好き勝手 持って遊ばれでは

ムラムラは増すばかり... しかし...

はっ

ス...

ドン!!

熱い!!

敏感すぎて

触れられん!!

なんじゃこりゃあ?!

何とかせねば... こやつに好き勝手 持って遊ばれでは

ムラムラは増すばかり... しかし...

余がつけたこの子
気に入ってくれたか？

男性器に擬態した
上で…神経も直接
に繋げだぞ〜♡

…知らんぞ…
こんな技…!!

一発で成功

これも『ジョーイ』
のおかげだな〜



我らの共感力によって
余も同時にそなたの快感
を体験できるぞ〜♡

最高に気持ち
良いであろう

ヤバイ…ヤバイ!!
このままじゃ駄目で
分かっておるのに
セレナの体が―
勝手に興奮して…!!



—へえ〜
やはり若娘の性感
は半端ない…!!

これぐらいで…もう
かなり悦に溺れたか

ぬちゅ♡

ぬちゅ♡





はっ♡
はっ♡
…ええっ?!
なんで??



うっっっ
…達せない!!
辛い—!!



…なぜ?
どうして?!

当然ではないか



…またなにか
があああ♡♡

この体にとっても
未知の快感…!!



—先まで
あんなに拒んだくせに
今もうイキたくて
どうしようも無いか

だがまだイカせないぞ♡
まずはこの余の飢えた肉壺
を満足させて貰わないと♡



この子は余の支配下にあり
感覚は余とリンクして…
絶頂も完全にコントロール

ガンッ

ネット

はあん♡

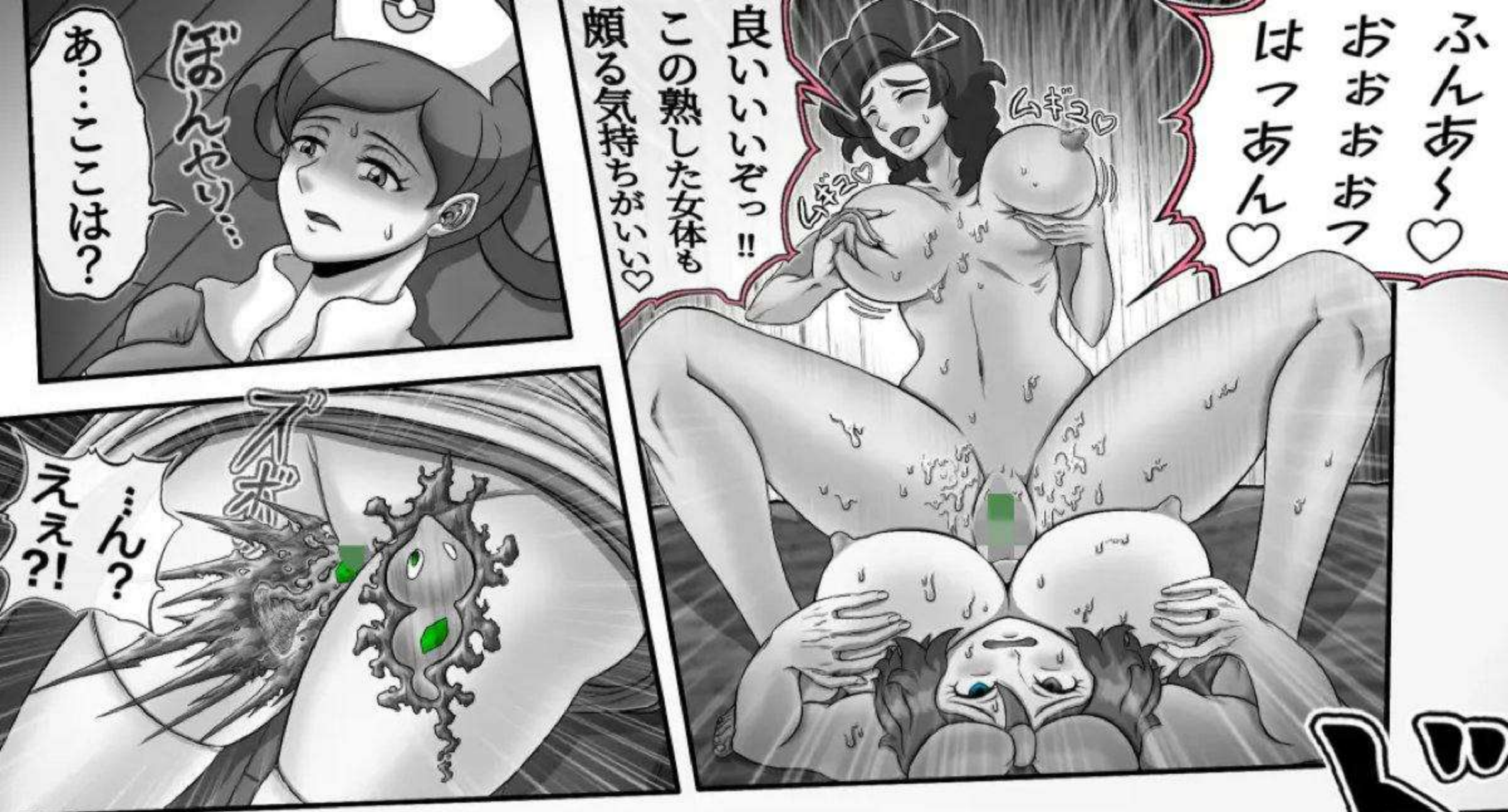
ぐちゅ♡

バタ

バタ

もみ♡





ふんあく♡
おおおおつ
はっあん♡

良いいいぞっ!!
この熟した女体も
頗る気持ちがいい♡

あ……いっは?
ぽんぞっ……

ええ?!
ん?

トウッ
プルッ
プルッ



……上々ー
あっちも上手く
進んでおるな♡

くねっ
くねっ

うはあ
——!!



じゅっ
じゅっ

このドスケベ
肉壺で昇天さ
せてあげるよ

よかろう

イツちやう…
またいきそう

ぬ
ちやう



んっ~~~~
うんん♡
あは——っ!!
ああああん♡



まあ——
今のそなたには聞か
えるわけないから

人間の性行為は
実に素晴らしい…
そうであろう？



あ…あっ!!



くっしゅ——っ
余もそろそろ…
もう…駄目かも!!



いっ♡



ビュルルルルル

ドビュ〜ッ

ドグッ

ドグッ

ドビュ〜ッ

はあくまあああく!!

イ…くうらうらうら♡

あああああッ!!

ウツ!

ゴッ

ゴッ

ア



こんなにも…
沢山…入って
きておるぞ♡

熱い〜!!
ふおお〜♡

はああ〜♡
むわ

まだ…

はい?

余…まだ…
イっておらん

オオ〜
いかにも

イク前にもう分離
され…何も感じられ
無くなったー!!

いった時にコントロール
が弱まったせいか…
だって気持ち良すぎて…
すまんすまん♡

…!!

ガク

ガク

ゆせ
ビクッ

ビクッ

ぐちゅっ
ぐちゅっ
ほたし

ぐぽっ

びく



あー残念だったな
でも余はたっぷりと
楽しませてもらった

なんだそりゃ?!

アアアアあああ
余にも一回ぐらい
イカせろよ!!

…余…よを……
あたしを気持ち
よくさせてよ!!

いったたたたあゝ
この肉体歳食ってるぞ
手加減しろろろ!!

ウオウオウ
ウオウウ
?!

なにに……
どうしたの

前後のギャップが
なかなか凄まじくw
ちよつと弄り過ぎた



お——つと
暴れてますねえ
どこか具合悪い
でしょうか♡

お嬢ちゃん♡



まあ——♡
良いタイミング

ぞくぞく

グッ



は~~~~い♡
楽にしてください
始めま~~~~す♡

触診……お試
いただけます？



がっはああ
アアアア!!



イヤああ
ああー!!

違うよく!!
そっちじゃ……



ギョ

ビクッ



ガク
ガク
やだ!! どうして
後ろの…穴に?!

ズイ
当然でしょう
だって〜♡

ぐに♡

前はあの御方が……
待ち構えてますから



はあ
はあ



ボッ

ムギユ♡

にぎゅ
にぎゅ

うん〜絶好調ね

もじ

もじ

いいよ〜♡



その体勢
そのまま

ゆせつ

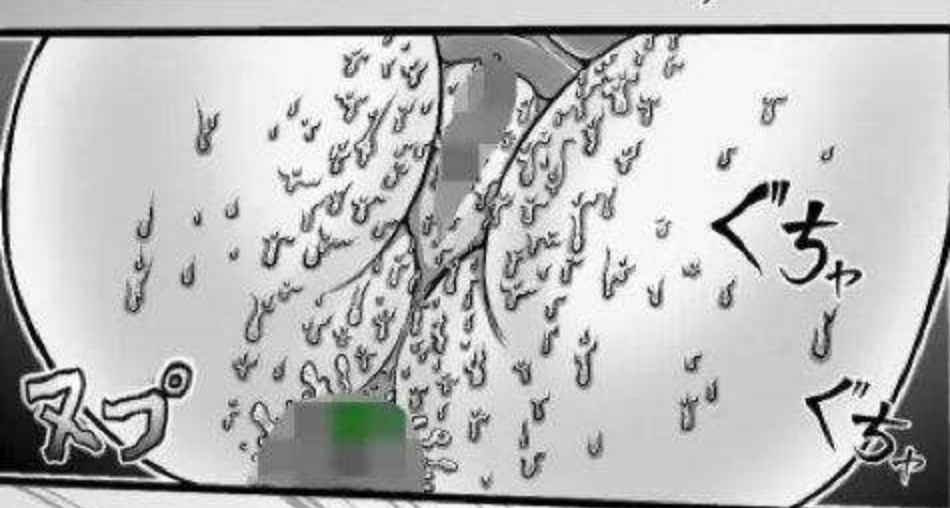


え〜？



だが今はどう思う？
この逞しい擬似性器
が欲しいかな？

これこそ——
そなたが下等生物と
蔑んだ人間の快感



欲しいいい…に
決まっている!!
全部あたしが…
悪かったわ♡

だから早く…ママのそれを
あたしの中に入れてえ♡!!

むぎゅ♡



やっと素直になった
そなたに——最高の
ご褒美をあげよう

あっはは
よがり狂って人格
まで混ざったか





じゅんぽ...

じゅんぽ...

じゅんぽ...

じゅんぽ...

ほんとうに...
溶けちゃうの...

はあ...
あ...

気持ちいいよ
昇天しそこの♡

んあ...

じゅんぽ...

ずんぽ♡

ずんぽ♡



ずんぽ♡
ずんぽ♡



ダメ…またイッく
はあああああ〜!!

ぷるん♡

ぽたぽた

余もイちゃう♡
いくぞいくぞお
おおお〜!!

パン
パン

ひくひくして激しい
…こわれる〜あたし
壊れてしま〜!!



全身…痺れて…
もう動かせない

フフ…ッ



パタ
パタ

はあ♡



確かに…

さくらん

オィ!! 貴様...

タプッ♡

おと...

サイホーンくんも大丈夫そうですし

なで

夜通しセ○クスしっぱなし 疲労てそろそろ宿主の意識を 押さえ切れないみたいね♡

痛いです

グイッ

何が「お大事に」だ?! 分離できない上に...

ではお大事に

プク

プク

...そしてこの 湧き出る乳!!

イヤン♡♡恐らく これは擬似妊娠状態に なっております♡

だが一番深刻なのはこっち

ドクン

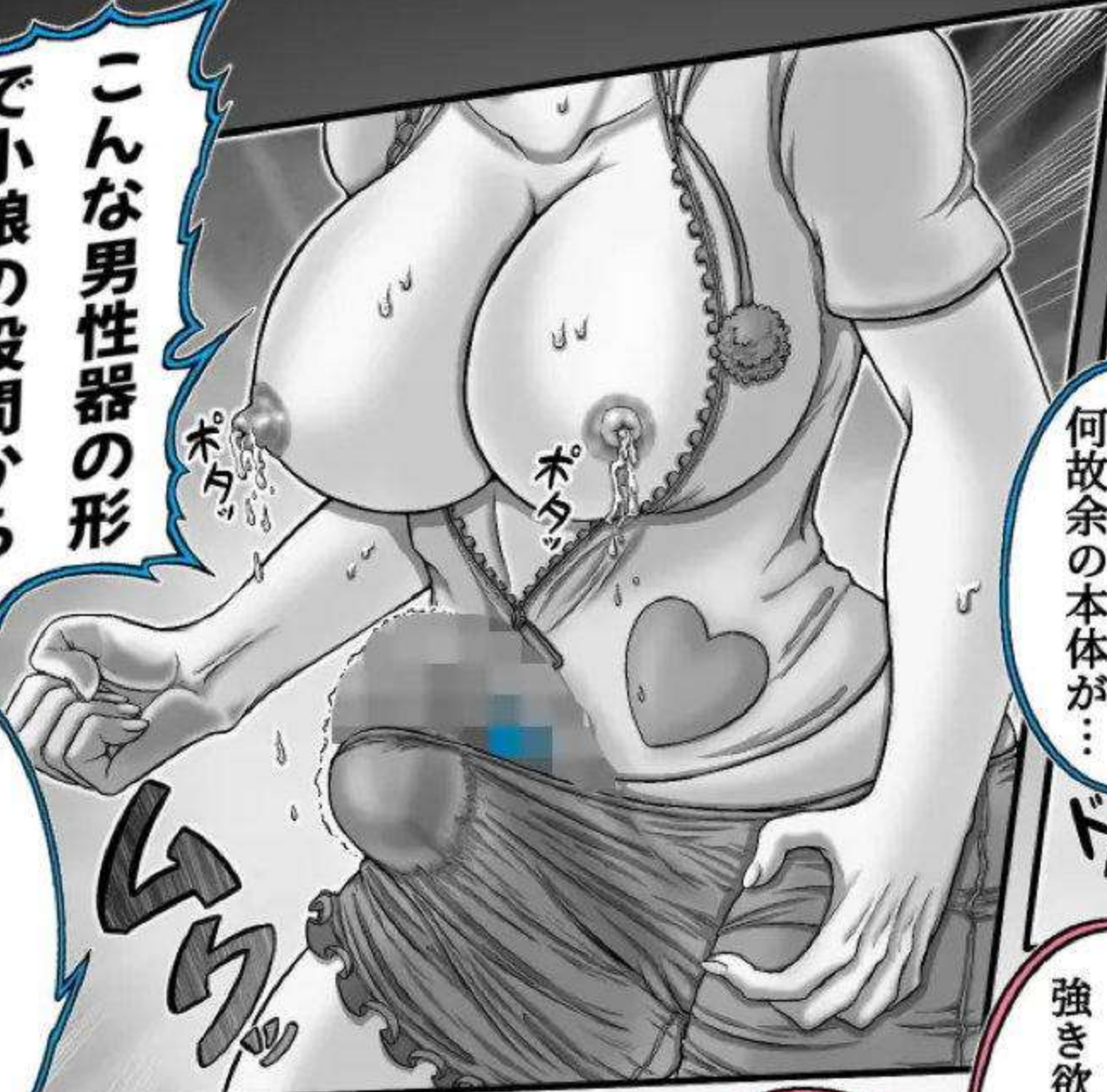


—はあ…はあ…
何故余の本体が…

ドクン

こんな男性器の形で小娘の股間から

生えてくる—?!



ポタッ

ポタッ

ムウッ

胸を触ったぐらいでもうギンギンに勃つ

およそこれはそなたの強き欲情が成せる技

安心せいで余がこの体の知識と能力を駆使し
いつか必ず分離の方法を探し出すさ〜〜

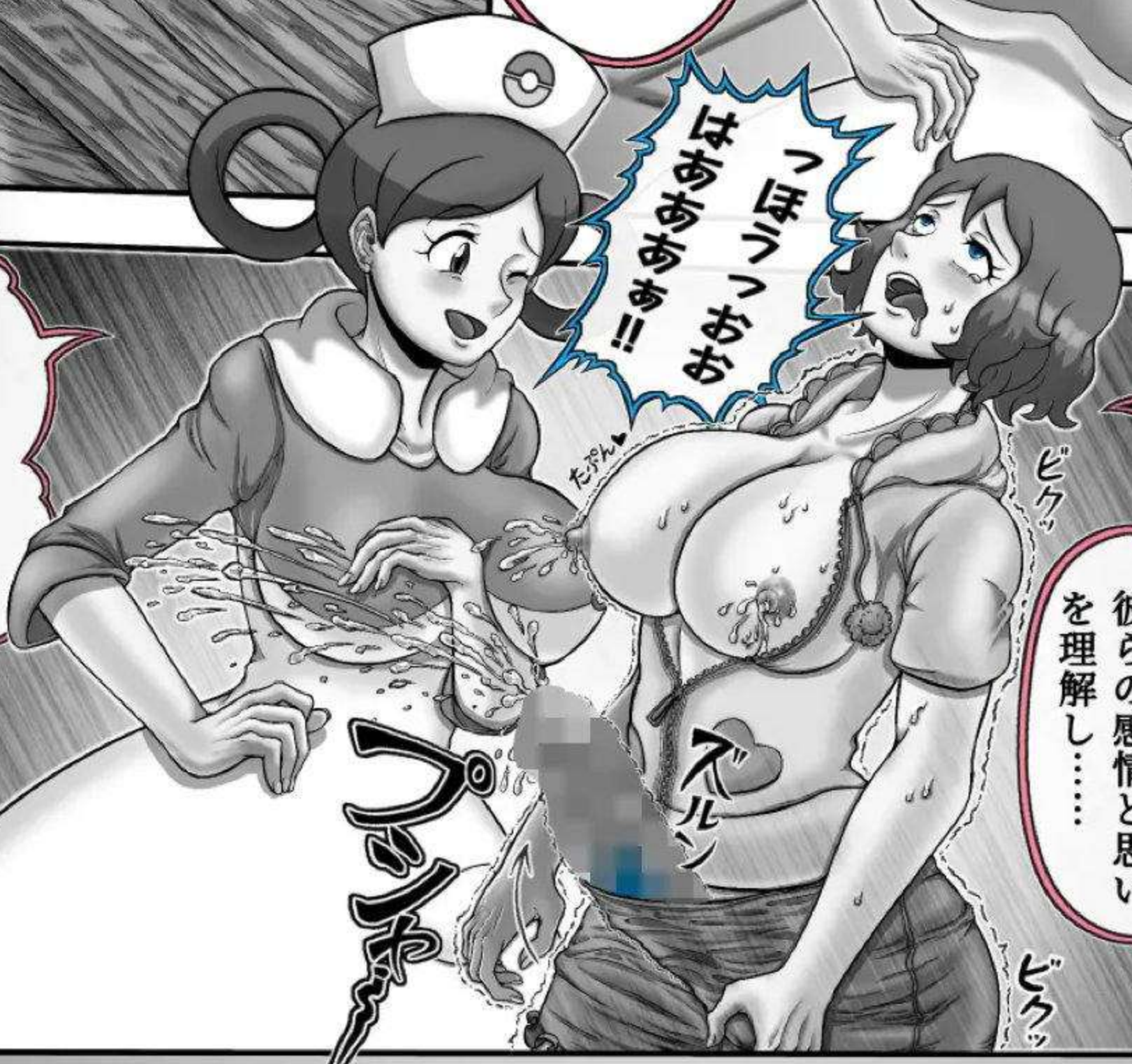


ニコッ

はあはあはあ
はあはあはあ

それまで……
そなたも余の様に人間と共に暮らし

—共に考え
彼らの感情と意思を理解し……



ビクッ

ビクッ

ズルン

わっ〜〜良い雰囲気
が台無しに〜!!

サフ



床に寝てたら
風邪をひきますよ

ゲッコウガの
方も気になり
ますので…

それじゃこれで
失礼します〜♡

パタン

ブル



待て!!

もう〜!!
あやつどこ
まで適当
なんだ?!



「テレポート」!!

え〜っ?!

プク〜

余の本体はずなのに
まったく収まらん…
ああっ♡はみ出る!!



…だが
実際問題

もしこのままセレナ
の意識が目覚めたら
どうすればいい…??

はあ〜!!

クダ〜♡

おわり…?